

年度	期生	国公立現役合計	北大現役	和暦
2023	56	176	13	令和5
2022	55	114	4	令和4
2021	54	99	2	令和3
2020	53	95	5	令和2
2019	52	88	8	令和元年
2018	51	103	9	平成30
2017	50	77	5	平成29
2016	49	94	6	平成28
2015	48	66	2	平成27
2014	47	77	6	平成26
2013	46	73	4	平成25
2012	45	58	4	平成24
2011	44	54	2	平成23
2010	43	79	5	平成22
2009	42	30	2	平成21
2008	41	46	6	平成20
2007	40	47	4	平成19
2006	39	55	3	平成18
2005	38	29	1	平成17
2004	37	28	1	平成16
2003	36	21	2	平成15
2002	35	28	3	平成14
2001	34	14	1	平成13
2000	33	18	3	平成12
1999	32	20	0	平成11
1998	31	19	2	平成10
1997	30	14	2	平成9
1996	29	14	1	平成8
1995	28	12	1	平成7
1994	27	12	0	平成6
1993	26	13	0	平成5
1992	25	8	1	平成4
1991	24	28	2	平成3
1990	23	13	2	平成2
1989	22	19	6	平成元年
1988	21	18	0	昭和63
1987	20	8	0	昭和62
1986	19	7	1	昭和61
1985	18	19	1	昭和60
1984	17	18	4	昭和59
1983	16	34	1	昭和58
1982	15	30	6	昭和57
1981	14	27	6	昭和56
1980	13	44	11	昭和55
1979	12	37	7	昭和54
1978	11	29	6	昭和53
1977	10	25	5	昭和52
1976	9	30	4	昭和51
1975	8	34	5	昭和50
1974	7	33	3	昭和49
1973	6	21	2	昭和48
1972	5	33	6	昭和47
1971	4	37	14	昭和46
1970	3	14	3	昭和45
1969	2	10	0	昭和44
1968	1	6	0	昭和43

SSH校に指定される
石狩一学区に

校舎改築落成記念式典
新校舎の管理棟・普通教室棟完成

校舎改築始まる

北大現役合格者無し
北大現役合格者無し

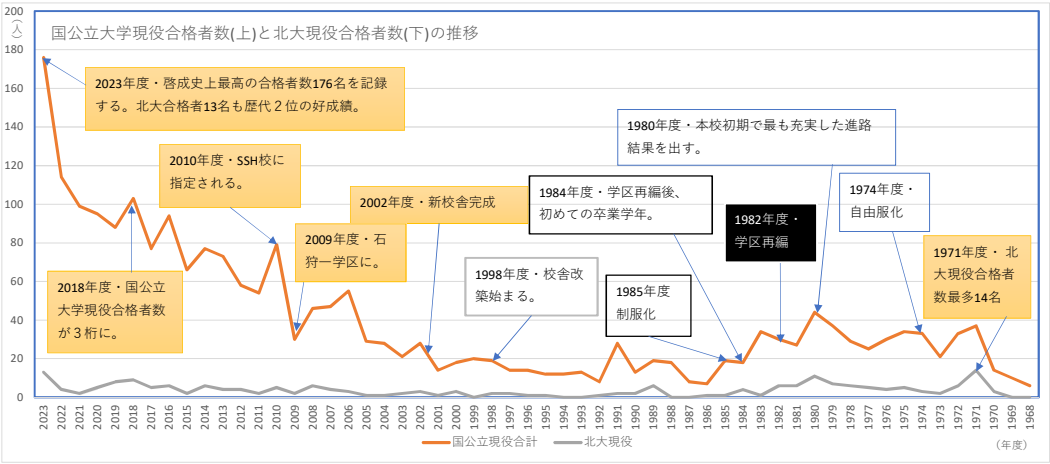
制服化
進路結果が急落する
北大現役合格者数の急減
学区再編で江別方面は学区外とされる

本校初期で最も充実した進路結果

自由服化
浪人生が京都大学文学部に合格
浪人生が東京大学(文三)に合格
北大現役合格者数最多記録
北大に初の現役合格

43年度より理数科設置。昭和44年3月10日第一回卒業式。

昭和42
昭和41
第1回入学式



啓成の進路実績の推移をまとめると、1982年の学区改編が強烈な打撃になったことがわかる。
江別方面の優秀な生徒を集めて、南・北・西・東・旭丘・開成に次ぐ進学校とされていた啓成が、
学区改編により主に江別方面からのパイプをきつく絞められた結果、二年後の1984年度に進路実績が急
落した。
その後は国公立大学現役合格者数が20人を超えることがほぼなく、安定して20名を超えるようになった
のは、新校舎完成の2002年度からだ。
2009年に石狩が一学区となり、昔のように江別など札幌近郊の生徒が制限なく受験できるようになっ
たことで転機を迎えた。2010年にSSH校に指定されたことも追い風となり現在も進路実績を
伸ばしている。
グラフは進路指導部で毎年発行する進路資料『夢をつかめ』と1976年発行の『十周年記念誌』から
データを集めた。
(札幌啓成高新聞第203号5面「進路・苦難越え伸び行く母校」記事より)